

刊夕 日十月四



定価一冊五銭... 廣告料五銭... 印刷所 警報新聞社

念珠の智識と山來功德

眞 繼 雲 山

織田得能師の説によると同師は試みに菩提樹の實を拾はれたが、無花果の類で決してじゆ数につくらるべきものではない、故に菩提樹とは、その實、雪山地方にあるボデーと稱する木の實であらうとのことであるとす。

また經典の説示によりますと、念珠はその玉の材料によつて功德に大小の別ありとせられ、菩提子、金剛子、蓮子、眞珠、水晶等が尊ばれ鐵や銅は比較的下位にあることが記されてゐます。念珠の材料たる樹の實を取る時には先づその樹に加持し、身心を清淨にし至心に眞言を誦し、前一夜の樹下に眠り宿りて前相の是非を見ねばならぬ。若し夢中に非人醜惡の相を見るならば方角をかへねばならぬ、最上の枝の實に最上の果報あり。中枝の實を得ば中法を成就し下枝の實を得ば最下の果報を得る、その實も瘦せたもの虫蝕等は皆な用に堪えず、東西北の枝より採りてよろしきも南方の枝のみ採つてはならぬと記されてあります。

また珠子を磨くにも清淨の道場において一々珠子を加持し眞言を誦しつゝ同じ良種百八を撰ばねばならぬ更にこれを貫く糸は、未だ罪を得ない童女をして五色の糸を合せしめよとあります。然るところ近頃は單に丸玉や平玉くらゐの區別がなく、獨體形や木魚の形、菩薩のお姿や羅漢のお姿を彫んだものがあつたり、或は母珠の中に諸佛菩薩や祖師形のお寫眞を寫し込んだもの、或は指輪念珠腕輪念珠などいろいろ新奇なものがあるがこれらに據りどころがあるわけではありませぬ、何れを可とし、否とすべきでなく、要はそのれによつて信心をすゝめることが出来ませぬならば功德は従つて成就することではありません。

八、念じゆの用法と拜み方
念じゆは如何に使用すべきものかといふにこれを携へることが佛教信徒たるの標幟であるといふ風に考へられ、お寺参りや佛事法要の諸集會などには、無くてならぬ法器となつてゐます、萬一これを持たないとすれば何んとなく肩身がせまいといふ観すらあります。また篤信の士は佛事法要、寺まわりの時にかぎらず平常の仕事を営む場合にも四六時中これを手にしてゐるお方すら少なくありません。信仰の普及、増進の上より見て、まことに喜ばしい現象であります。

念じゆはこれを如何に使用してゐるかといふに、小數の片手掛ならば佛前に合掌するときに親指を外にし残りの八指を輪の中に入れてとか百八じゆの念じゆであるとするれば、兩手にてサラ／＼と摺り鳴らすといふ程度でありまして、それ以外には餘り使用されてゐないやうであります。

初めは釋尊が木けん子經中に説かれたのは、これを念じゆする功德によつて、業障を滅し、樂果を得るといふにあつたのですがそれを如何に念じゆすべきやの方法は、それ以後の經典において説き明かされてゐます。その意味を綜合いたしますれば要するに念じゆとは佛前において眞言、若しくは佛名若しくは念佛唱題等を稱へるときに數とりとしてその用を叶へたものであります。

御節旬御祝品大賣出し

御節旬の御祝品を澤山取揃へて御持ちして居ります。例年の如く大絶強致します。是非御覽下さい。卸賣特に御務め絶強致します。

共榮漆器店

進物贈答品 恩賜賞與品 記念表彰品 各種漆器
本店 本年尋卒 仕着 小使月三圓
同高小卒 仕着 小使月三圓
外 十八九才より三十才迄

露披御車新

三四年型デラックスセダンが
入荷致しました
貸切の御用命の節は
電話六八五番へ……
是非御試乗の程を願ひます

三井タクシー

電話六八五番

二丁目フクダヤの 雛人形大市

各産地の有名作品を集めて賑々しく陳列致しました。格安品も山積してあります。御一覽を願ひます。

雛人形箱入三十五銭、御殿人形一圓三十銭、内裏雛一圓二十銭、十五人揃六圓五十銭、百圓迄各種

御通學には フタバの自轉車で

魂の這入つた
責任保証付。總クローム
東京製新車 二十五圓ヨリ
一年保証中古車 十圓前後
フタバ式リヤカー發賣元
フタバ商會
平。新川町。月見橋際
見習生二名採用

通學服と防水マント賣出し

可愛らしい御用命を豊富に取揃へてお座います。何卒御用命を……

| | | | |
|-------|---------|------|----|
| 男 兒 用 | 紺サージ金釦服 | 3.80 | ヨリ |
| | 黒小倉服 | .90 | ヨリ |
| | 上口 | 1.60 | ヨリ |
| 女 兒 用 | 紺サージ制服 | 3.60 | ヨリ |
| | 紺セルセラー服 | 2.80 | ヨリ |
| 防水マント | 片ゴム | 1.20 | ヨリ |
| | 中ゴム | 1.55 | ヨリ |

ふかや洋服店 平三 電話238

有給外務社員數名募集

経験の有無、男女ヲ問ハズ奮闘家ヲ望ム
固定給ノ外旅費支給、希望者ハ履歴書持參午前中
御來所ヲ乞フ
明治生命保險株式會社
平地方募集事務所
主任 小野 勝康
(改長吉)
平町字仲町二四

お花見には是非!!! お花見には是非!!!

櫻花の季節になりました
お花見には是非!!!
時節柄價格低廉
奉仕的勉強致します
平町一丁目
電話一四一番

耳鼻咽喉科専門 鈴木 醫院

醫學士 鈴木 正男
平町田町(電話五八番)
藤田女學校前
自炊のお需めに應ず
入院の便あり

花には未だ早いが

無慮二万の人出!

けふ松ヶ岡公園の忠魂祭

朗らかな春の序曲

石城尚武會主催の忠魂祭は既報の如く十日午前十時から舉行されたがこれよりさき平町各公私立學校職員生徒約八千名が參拜した、式は先ず青沼石城町村長會長の開式の辭より始められ次第で、しちりきの音も幽嚴に奏でらるゝ裡に數十名の神職、僧侶による慰靈祭が行はれ青沼支會長、山崎郷軍聯合分會長、來賓縣知事第二師長の祭文朗讀あつて後司會者、來賓、遺族傷兵在郷軍人、老兵會、赤十字社員、愛婦會員、一般參列者の拜禮ありて正午式を閉ぢたが此の日早咲きを豫想された櫻も蕾未だ固い恨みはあつたが別項の如く武道試合も催され絶好の日和りに人出二萬を超へ松ヶ岡公園は全山人の波に埋り松ヶ岡公園觀櫻の春の序曲が華やかに奏でられた、尚畑山縣知事の祭文左の如し(青沼平町長代讀)

英靈に詣ぐ 願れば距今六十餘年世機一度動きて以來我國は忽ち舊套を 新し急轉直下して以て今日の隆昌を成せるもの洵に世界史上空前の偉觀たり然りと雖此の間勢を避くべからざるして干戈を動せしこと數回加ふるに最近隣邦中華民國は政令中正を缺き遂に這般の滿洲上海事變を惹起するに至る各位や即ち斯く光輝ある興國の犠牲として身を以て君國に奉せるもの其の壯烈鬼神を泣かしむ小官今各位の靈前に起ち思ひを此に至れば感慨轉た禁せざるものあり今や國家事情々多くして難彌々加はる各位茂烈千秋に傳はり善く後進をして起たしむべく英魂永へに護國の神たり頼ち斯の險艱を濟ひ極天皇基を固ふせよ

時方に春陽の候松ヶ岡の櫻花爛熳たる所英靈驀斯の紀典に監臨せらる幽明所を異にすと雖神人歎を合せて益々皇國に奉事せられんことを 度みて五字を薦た希くは

享けよ

昭和九年四月十日

福島縣知事

正五位勳四等

畑山四男美

武道

各試合に 秘術を盡す

石城武德會主催の武道大會は十日午前十一時から松ヶ岡公園に於て開かれた先づ

磐銀債權者

報告を徴して協議

磐城銀行債權者會は本日午前十時より平區才判所に於て開かれ先づ過般の變更により任命された新管財人新田目善次郎、武田清一兩氏は舊管財人永野野柳造氏より管財事務一切の報告を受け之を承認し休後債權者一同に對し新管財人よりは是れを報告した

第三校の級長

平第三小學校では十日第一學期正副級長を左記)如く決定

前年度優勝分會澤渡組より

優勝旗返納あり横山平分會長の訓示、小川文章氏の試合に對する訓話來賓祝辭ありてのち小川文章、其他十數氏審判の下に劍道、銃劍道、弓道に分れて夫々試合開始され

優勝旗爭奪試合、一般試合、模範試合

と參加選手百三十名互に秘術を盡し龍壤虎搏の激戦を演じて午後五時閉會した

農林省の

技師來郡

漁港を視察

農林省水産局川瀬、飯島兩技師は昨日午後來郡し今日より二日間に亘つて郡下各港灣を視察調査し明日午後四時倉築港事務所の會計検査を行ふと

片倉製糸工場に

二萬圓の乾燥機

平町片倉製糸工場では今回二萬圓を投じ大和式自動乾燥機を据付る事となり目下準備中であるが同機一晝夜の乾燥量は生繭八千貫で従

畑山知事けふ來平

明日の水産講習所開所式に

畑山本縣知事並に赤土内務部長は明日午前十時より小名濱町本縣水産試験場にて舉行さる福島縣水産講習所開所式に臨席のため本十日午後來平住吉屋本店に一泊すると

平局野球部

陣容成る

平郵便局野球部部員六十名では十五日午前十時から平第一小學校庭で今年度の野球部發會式を舉行、役員改選、メンバー編成、本年度スケジュールの件に就て協議した後初試合として局内對抗競技二試合を行ひ午後四時から松ヶ岡公園で觀櫻宴を開くと

花見辨當

藤寅で大勉強

一丁目藤寅では愈々櫻花の季節になつたので例年の如く價格低廉奉仕の大勉強の折詰めを始め花見の御用を待つて居る

みつ豆

魚清が自慢

二丁目警察署通り魚清では二、三日前より同店自慢のみつ豆を始めた

平町人事

回出生

△杉平二二 猪狩傳氏四男 光男さん

東京風の

パンの店

東京堂開店 明るのマーチンパンとお

美味! 芳醇!

宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

小店員數名募集 年齢十五才ヨリ 優遇ス 御希望ノ方ハ午後一時ヨリ本人御來談下サイ 平町田町一七 レストランサロン 電話三五二番

看護婦急派の求めに應じます

平町南町 平看護婦會 電話三〇七番

色川問題解決

無條件で手打ち

昨日関係者役場に参集

屢報—抗爭數ヶ月に亘つた色川製材會社火力製材機設置問題に數回に亘つて調停委員が反對同盟、色川氏側兩者を廻つて圓滿解決を期して奔走の結果その勞酬ひられ解決の曙光を見出すに至つたが更に昨日午後四時不町役場に三者會見して最後の協議を行つた結果反對側は無條件で調停委員に一任することを出でたのに對し色川氏側は自發的に

一、現在の溝を完全なる側溝に改善すること
二、工場の周圍に防火塀(金板の上にコンクリー

井上氏の無罪を聞きて

慌し颱風一過花の座
—耕影—

トで舗装し更にその上にコーラルを塗擦すること
三、西側の道路に高さ一間のトタン塀を建設すること
の三項目を提出して誠意を披瀝し更に二百圓を投げ出してその處分方を調停委員

自轉車で疾走中

腦溢血を起して

轉落した儘死去

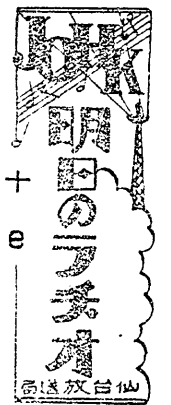
玉川村大字愛子島字塚塚三五農小泉和助(三九)は八日午後六時頃所用のため自轉車にて小名濱に向ふ途中同村大目岡小名地内縣道に於て突然自轉車より轉落その場に昏倒したので通り合せた者が附近の醫師を呼び寄せ手當を加へたが遂に絶命した

十六ミリ映寫機を

使用して照明講演

商工會主催

平町長橋町いはき新報社主催第四回店頭ウインドウ裝飾競技大會を機として平商工會では東京電氣會社照明學校講師小西彦磨氏を招聘し十二日午後七時からマル



今晚は西北の風
明日は南西の風
曇時々晴

今晚の部

後六、〇〇 子供の時間
童謡一、ウンドウスルリ
種 長谷山維菊音楽會
後六、二五 漢文講座 菅谷文次郎
後七、三〇 昭憲皇太后御二十年祭記念講演 明治神宮々司海軍大將有馬良橋
後八、四〇 箏曲「記念の應の羽」萩岡松韻
後八、五五 謠曲「飛鳥川」喜多六平太外大勢

濱三郡の理髮總會

濱三郡理髮組合の總會は九日午後一時から平署會議室に於て開き横山平署長の講話ありてのち規則改正その他を協議了つて縣下大會に提出左記議案を審議

列車の飛火

山林三町歩焼失

磐越東線小川郷川前驛字上小川村字川上地内鐵道沿線の雜木林から去る八日午後三時頃發火し山林三町歩を焼いたが原因は下り旅客一列車の飛火らしく損害取調中

潜伏中を

泥的捕はる
大浦村字細谷元鐵道員相川忠平(三九)は本月上旬同字の木村榮一方へ三回に亘つて

平商に防火隊

矢野校長自ら司令

平商業學校では今回四年以上の生徒を以つて防火隊を組織し矢野校長を司令として各班を左の如く決定した(防火班)一班清水教諭以下五年乙組十名、五班配屬將校以下四年甲乙組七十名(警戒班)五年甲組十名

平職業紹介所報告

回人を求める方
△女中 十七—二十五才迄 尋卒 月三圓位
△出前持 十五才—二十五才迄 尋卒 月五圓位
△女中 十六七才 高卒 月五六圓位
△商店員 二十才前後 商卒 初給月五圓—十圓位
△下足番 十六才以上 尋

木村外科醫院

平町六丁目橋際 自炊入院の便あり
電話 三九〇

近新音頭

(禁煙上級及上演)

田邊南龍(作)
山本英春(監)

四

仲のよい御夫婦
「オ、町人、初旅の事此の邊の様子が知れず、とんと困つてゐるが近所に宿屋はあるまいか」

「サアお氣の毒ながらありませんね、箱根の宿まで行けばありますが、まだ容易なこつちやアねえからね」

「夫は弱つたな」

「旦那、そんなら斯うおしなさい私の家は此の小道を三丁ほど入つた笹原といふ處にありませう私は政右衛門と申しまして、家には弟が一人あるきり、何のお世話も出来ませんが、少し休んでいらつしやいな」

「左様か、さうして貰へば大助かり、では迷惑だらうが頼む」

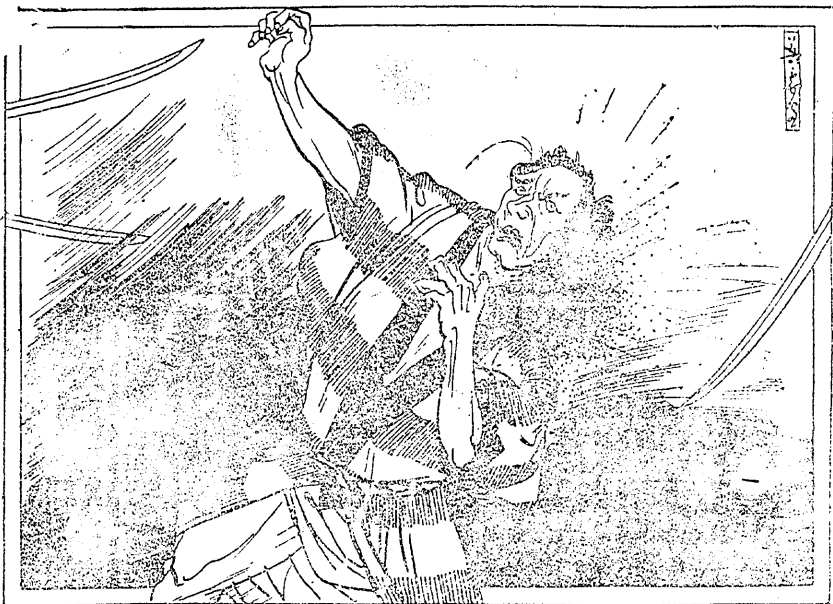
「エ、宜しうございますとも、休んでいらつしやる内には、弟野郎に駕籠を見附けさせます」

「親切な一言、忝ない……八重、聞いての通りだ、政右衛門殿とやらに厄介にならう」

「サア御新造さん、御心配なくいらつしやい、歩けねえなら私がおんぶして上げませうか、ナニ夫には及ばねえ、え、さうでせう、おぶさるなら若え旦那にお

ぶさりませうアね
「八重や大丈夫か、歩けるか」
「三丁程なら大丈夫と思ひます」
「ヘッ、へ、お仲の宜しい事で……お荷物は持つ

「……」
「マア貴郎淋しい處でございませぬえ」
「ナニ御新造さん東海道一の關所箱根と云つたつて詰りは山の中この近所は皆斯うですよ」
と話の内に家へ着いた
「オイ丑や、今歸つた」
「兄いか、早かつたな」
「フム、足を痛めてお困りのお武様御夫婦をお連れ申した、お躑足を取つて上げて呉れ」
「夫ア能く御案内をした、



て差上ります、どれ、御案内しませう」
かの男の案内で峻しい山坂小路を辿つて谷の方へ三丁

「サア参りました、向ふに見へる軒家が手前共です

「何が宜からう」
「さうな、蛇飯が一番だ」
「あッモン、蛇飯とはどういふ物でござるな」
「生た蛇を飯の中へ焚き込んむんでさア、美味うござんすよ」
「ハ、ア、八重、お前食へるか」
「イエ、そんな物は澤山でございませう」
「折角の馳走ながら、妻がいやちやと申すゆえお断り申す」
「此奴ア氣が附かなかつた私共には旨いが旦那方には食られねえかも知れねえ、丑蛇は止めの普通の飯を炊いて御新造さんに食べられさうなものを副食物にしろ

「よし」
「飯を上げたら駕籠を見付けてこいよ」
丑といふ男がまめくしく夫婦に食事をさせると駕籠を探しに出て行つたかどうしたのか却々歸つて來な

權八とお八重の二人が頻りに氣を揉み始めたので政右衛門といふ男がかう申しました。
今持つて來るよ」
盥へ水を入れて持つて來たのは、三十格好の人相のよくない男、夫婦は足を洗つて上へ昇る
「丑や、旦那方何か美味物をこしらへて上げな

耳鼻咽喉科 大和田醫院
平町南一丁目七番
電話一〇七六

一冊の代金で 御希望通りな 五冊の雑誌が 自由に讀める 川崎巡回文庫
電六三〇番 (申込次第規則書進呈)

市原醫院
平町田町 電話一四四番

三月雛人形御道具類 特價大賣出し
例年之通り人形及御道具類並に高級御殿等豊富に取揃へ陳列いたしました、當店は元來御客様本意主義を以て大勉強いたします。
是非御用命の程御待らいたします。
平町三丁目日本通り 落花生問屋
叶加藤商店

地方擴張の爲 社員十數名募集
一、相當學力を有し紳士的奮闘家は來たれ 固定給外月收多大
二、但し希望者は午前中面談す
共保生命警城監督所
福島健之
(今般都合に依り長橋町四七番住宅へ轉居致しました)
警城代理店 加藤丈夫
平代理店 金子直吉
警城泉代理店 佐藤清治

花見 折詰、辨當ハ錦 水ニ御注文下サ
錦水
伊

吸入用酸素純度 99%
モノサシ 温度計
マ ス 寒 暖 計
ハカリ
秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス
關内藥局
電話四〇〇番
寫真材料一販賣致シマス